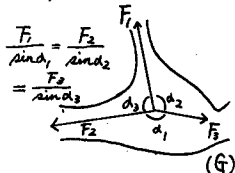


B 111 スポーツウェアにおけるブラジャーの機能性について
 東北女大家政 ○奥野右子 弘前大農 福地 博
 帝塚山学院短大 田中道一

目的 フィット性能のあるブラジャー設計のために、そのつり合い、反り防振効果について検討した。

方法 着用時のつりひも、アンダー部分の伸び率を測定し、同じ率だけ、インストロン型引張試験機で引張り、その荷重(F_1, F_2, F_3)と、つりひも、アンダー部分の引張る方向とのなす角度($\alpha_1, \alpha_2, \alpha_3$)から、つり合いの良、不良を算出した。次に、加速度ピックアップをバスト部にとりつけ、跳躍、走る、腕振り、飛び降り等(計11種)の動作時にこれら、ブラジャーがどの程度、身体を防振しているかを測定した。



結果 スポーツ用ブラジャーとして市販されているもの(A, B, C)の中でも、つり合いはとれているが、防振効果の低いもの(C)がある。これは、設計、組織等の要因が考えられる。反対に、アンダー部分の荷重が大であるために、つりあいとしては不良となっているが、防振効果は大を示しているもの(B)もある。又、スーパーで市販されている安価なブラジャー(イ-A, イ-B, イ-C, イ-D)にもつりあいも良、防振効果も高いもの(イ-C, イ-D)がみられる。

$$\text{防振効果} = \frac{G_p - G_q}{G_p} \times 100$$

G_q : ブラジャー着用時の加速度
 G_p : NUDE時の加速度

	跳躍低 2.1/sec	ジャンプ大 2.9/sec	飛び降り (高さ40cm)	防振効果 平均 (%)
A	0.58	0.89	1.16	47.6
B	0.42	0.58	0.89	50.9
C	1.00	1.26	2.11	25.7
イ-A	1.16	1.05	1.79	36.1
イ-B	0.74	1.42	2.21	30.7
イ-C	0.53	0.79	1.47	43.9
イ-D	0.68	0.63	1.26	50.9
NUDE	1.16	2.26	2.89	—